

Mランドニュース Vol.118

丹波ささ山校 平成29年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》
か勝つことを悦ばず
負くることを
怒らぬ心

仏教伝道協会
カレンダーより

心輝く



専務取締役 井階 正義

新しい年を迎え、皆さまおめでとうございます。昨年もたくさんの方々にご指導いただき感謝申し上げます。ありがとうございます。年を重ねることにたくさんの方にお越しいただき、ご縁をいただきますこと、重ね々お礼申し上げます。私は、日頃お客様から筋書きのないドラマをよく拝見し、感動をいただきます。それはそれは幸せなひとときです。先般も八尾彰一代表率いるトライアスロンチーム「チームブレイブ感謝の集い」に参加させていただき、心震える機会に恵まれました。ご承知の通り、トライアスロンは鉄人レースといわれ、遠泳、自転車、マラソンと三種目を連続して行い、タイム

を競う競技です。ブレイブの皆さまは、以前から弊社教習コースにて、マラソンと自転車の練習を早朝より行なっておられます。練習の日はコースの木々も颯爽とした選手の吐く息、元気な気、気持ちのよい汗を吸い、感じ、生き生きと喜び、いつにも増して緑輝いています。そんなブレイブの感謝の集いに出席させていただきました。心が震えたことは、皆さまが元気なだけでなく、心輝いている姿です。小学生低学年からご年配の方まで一緒に、心温まる雰囲気を作られておられます。八尾代表は子どもから大人までが同じ場所で汗を流し、心を寄せた練習を実践され、チームを育てて来られ、トライレそうじや、ゴミ拾いなど、心を磨く場も設けておられ、「勝つことを一番に考えるよりも、心を育むブレイブ」を目指し活動に取り組まれておられます。弊社は、Mランドとして心を創る教習所として、十一年前に小河二郎オーナーによって再出発させていただきました。

しかし、年を追うごとに多くの職員も入社し、所帯も以前に比べ増えましたが、心を創る教習所の意義が薄れかけていました。この度の感謝の集いは、丹波ささ山校創設時を忘れかけていた私の心、想いをふたたび蘇らせる良い機会となりました。企業である以上は利益を求めるとは事実ではありません。会社の目的は、社員一人ひとりが幸せになること。一、お客様と一緒に成長できる会社。一、社会の役に立つ会社。チームブレイブの皆さまを拜見し、ご一緒させていただき、忘れかけていたMランドの理念、我々が創ろうとしていた組織を再認識させていただきました。今年も目的をしっかりと見据え、お客様にとって損か得かではなく、良いか悪いかで考え、「心を創る教習所」を目指し前進して参ります。本年も皆さまの益々のご指導、応援のほど、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

新年のごあいさつ



管理者 永井 興喜

新年あけましておめでとうございます。正月は一年の豊作と、家族の健康を祈る儀式。お供えをし、歳神様をお迎えするものとして、古くから続いてきました。正月の「正」という文字は、もともと「あらためる」、「きちんとする」という意味があります。正月を迎えることこそが一つの区切りであり、無事に新しい年を迎えられたことを心から喜び、昔は「数え年」といって一つ年齢を重ねたともいわれます。目まぐるしく変化する激動の今の時代だからこそ、「一年に帰す」。この正月に先人に感謝し、百年先、千年先にまで想いをはせてみるのも結構。そして積極的に行動に移していきましょう。

篠山掃除に学ぶ会

平成二十一年から久井勝明様が始められた「篠山掃除に学ぶ会」も、近年では八上小学校と篠山中学校のトイレをお借りして、月二回実施させていただいています。

その間、私たちの取り組みに一人また一人とご参加してくださる方が増えたことは、続けていく上で大きな力となっています。



八上小学校でのトイレ掃除の様子

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

1/15 (日) 八上小学校 西トイレ (AM8:00~9:00)

1/29 (日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

地域と共に

十二月十一日(日)、地元で所属する市内消防団訓練を、私が担当させていただくことになり、過去に例のないここの篠山自動車教習所で開催させていただきました。

まず、座学では全国や兵庫県の交通実態と、緊急車両の基本的な知識として七項目にわたり、映像を交えてお話ししました。



熱心に聞き入る消防団の皆様

お話ししながら質問していきますと、思いもよらないお答えがかえってくることもあり、現実と個々の認識がかけ離れていたことを知りました。正しい情報をお伝えすることで、私たちの取り巻く交通環境を理解していただくことができました。

次に実技では「緊急時」という普段とは違う中での運

転をテーマに、二つの課題で実施しました。

緊急出動では気持ちに焦りが生じ、思わぬ怪我や事故を起こすこともあり、乗車前に気持ちをととのえ、降車時においてはドア開け確認とタイヤ止め措置に至るまで、全員で何度も呼吸を合わせ体で覚えました。



タイヤ止めも確実に！

また緊急走行時には、周囲の交通に対する明確な注意喚起が必要で、助手席に座る団員のマイクパフォーマンスと確認補助、後退時における安全誘導を実習していただきました。



後退は目視で安全誘導を

運転する者にとっては、火災発生時等の特殊な場合において、的確な運転操作が求められることも今回の体験を通して理解していただけたものと思います。

教習所職員である私が、持ち味を生かして地域のために貢献させていただき、たことに感謝します。営業チームリーダー 中野聡

一〇〇〇人で大そうじ

十一月に開催させていただきました「一〇〇〇人で大そうじ」では、市内スポーツ団体や各企業をはじめ、小・中・高等学校にも参加のお願いをしたところ、多くの方々が行動してくださったことを、十二月のMランドニュースでお知らせいたしました。

賛同していただいた中で、県立東雲^{しのめ}高校の校長先生が「この日なら全校で取り組みができますよ」と提案していただき、十二月二十一日に校内清掃と周辺道路のゴミ拾いをさせていただきました。

開会式では全校生徒さんに、Mランドがなぜ教習所が

そうじに取り組んでいるのかをお話しし、それぞれのエリアへと出発しました。

二・三年生の皆さんは昨年引き続きの取り組みで、国道わきのゴミを積極的に拾われていました。

このような彼らの姿は、通りかかるドライバーに、きっと大切な何かを伝えたものと思います。フェスタ掃除担当 水越健二



周辺道路のゴミ拾いのようす



最後に、全員で記念撮影

手話で会話

十二月も四日と十八日の二回、篠山ろうあ協会 大内和彦様と白井実加様に、始業前の四十五分間でご指導いただきました。

今月は覚えて表現するだけでなく、「あなたの住所はどこですか?」、「いつも何時に起きますか?」など、質問に対して応えるかたちで手話を学び、二人一組で実践しました。

手や指の使い方でも、ちょっとした向きや振り方の違いで他の意味となりますので、そのつど大内様に直していただきました。



一つひとつわかりやすくご指導

一所懸命やってはいますが、思うように相手に伝わらず、「何をいうてるんや!」とツツコミが入り、大爆笑の場面

もありました。

決して流暢^{りゅうちゆう}に表現することはできませんが、しぜんに身に付いているものもあり、手話が特別なことではなく、身近なこととして職員に浸透していることを実感して一年を締めくくることができました。

手話研修担当 前川昂希

編集後記

新年あけまして

おめでとうございます。「二年の計は元旦にあり」皆さんはどんな「計」を立てられたでしょう。

「今年はこのを!」と思われたことがあると思います。また年が変わろうとも、自分の「柱」とも言える一生を貫く信念も、お持ちのことだと思います。

今年も弊社は、「社会の役に立ち、人に喜ばれる生き方」を心に刻み、地域やゲストと向き合っています。

「目の前のゴミを拾うか、拾わないか」。そんな姿勢から始まっていくものと、自分に問い続けてまいります。

(徹)